

世田谷区における中小企業の景況

第65回調査実施概要

1.調査時期:平成30年10月1日～10月11日 2.対象期間:平成30年7月～平成30年9月期、および平成30年10月～平成30年12月期見通し 3.調査対象:東京商工会議所世田谷支部会員(3,014社)①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②～④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金

1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法:調査票郵送～郵送・FAXにて回収。世田谷信用金庫・昭和信用金庫に協力依頼。5.回収状況:合計337社(回収率11.2%)製造業…46社・不動産業…39社・小売業(飲食業含む)…64社・建設業…62社・卸売業…45社・サービス業…81社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

業況

今期(平成30年7月～9月期実績)の業況DIは、▲1.5ポイントで前期から2.0ポイント悪化となり、2期連続で低下した。来期の業況見通しDIは4.7ポイントと、前回調査から2.8ポイント低下する見通し。

今期の業況(前期との比較)



今期業況DI ▲1.5
DI ▲1.5 = 好転19.0% - 悪化20.5%
※前回調査(0.6)から 2.0ポイント悪化

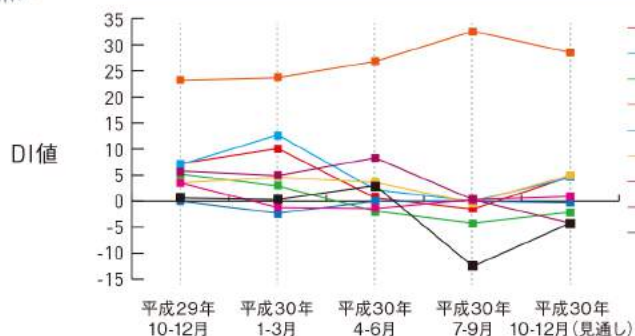
来期の見通し(今期との比較)



来期見通しDI 4.7
DI 4.7 = 好転19.3% - 悪化14.5%
※前回調査(7.5)から 2.8ポイント悪化

主な指標別の傾向

今期、仕入単価32.6(前期比+5.8)、営業時間0.3(同+1.7)と2指標が増加し、採算▲12.5(前期比▲15.5)、借入難度0.3(同▲8.0)、など5指標でポイントが減少した。来期見通しは従業員5.0(当期比+5.3)、売上額4.5(当期比+4.5)など5指標でポイント増加が見込まれ、借入難度▲4.2(当期比▲4.5)など3指標でポイント減少が見込まれる。



業況	7.2	10.1	0.6	▲1.5	4.7
売上額	7.0	12.7	2.2	0.0	4.5
資金繰り	5.2	2.9	▲1.9	▲4.2	▲2.1
仕入単価	23.2	23.7	26.8	32.6	28.5
在庫数量	0.0	▲2.3	0.0	0.0	▲0.3
従業員	3.5	4.6	3.6	▲0.3	5.0
営業時間	3.5	▲1.2	▲1.4	0.3	0.9
借入難度	5.8	4.9	8.3	0.3	▲4.2
採算	0.6	0.3	3.0	▲12.5	▲4.2

主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目:業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算		
全体	▲1.5	▲0.6	0.0	3.6	▲4.2	32.6	0.0	▲0.3	0.3	▲12.5	
製造業	▲10.9	0.0	▲2.2	10.9	8.7	41.3	▲2.2	▲2.2	4.3	▲15.2	
建設業	17.7	12.9	19.4	17.7	4.8	38.7	0.0	6.5	0.0	0.0	
不動産業	10.3	7.7	10.3	12.8	▲12.8	33.3	▲2.6	5.1	0.0	▲2.6	2.6
卸売業	▲11.1	▲2.2	▲11.1	4.4	0.0	40.0	2.2	0.0	11.1	▲20.0	
小売業	▲7.8	▲15.6	▲12.5	▲12.5	▲17.2	29.7	3.1	▲4.7	1.6	▲7.8	▲21.9
サービス業	▲6.2	▲2.5	▲2.5	▲3.7	▲6.2	21.0	▲1.2	▲1.2	▲2.5	▲3.7	▲16.0

主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

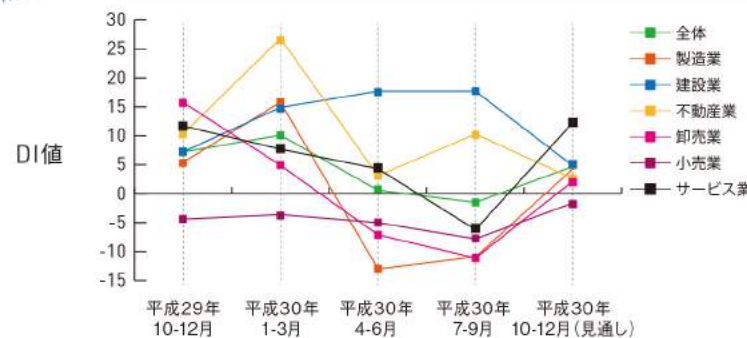
	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	4.7	4.5	▲2.1	28.5	▲0.3	5.0	0.9	▲4.2	▲4.2
製造業	4.3	6.5	2.2	32.6	4.3	6.5	2.2	▲8.7	▲6.5
建設業	4.8	8.1	▲6.5	27.4	▲3.2	9.7	0.0	▲8.1	6.5
不動産業	2.6	5.1	▲5.1	35.9	0.0	10.3	▲2.6	▲2.6	5.1
卸売業	2.2	▲2.2	4.4	42.2	▲4.4	4.4	▲6.7	11.1	▲17.8
小売業	▲1.6	▲1.6	▲6.3	20.3	▲3.1	▲3.1	3.1	▲9.4	▲9.4
サービス業	12.3	8.6	0.0	22.2	3.7	4.9	4.9	▲3.7	▲3.7

概況:<DI(Diffusion Index)とは…> DI(%)=[良い][増加]等企業割合-[悪い][減少]等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」したとする企業の割合が多く、景況(またはそれぞれの要素)が向上きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景況が低迷の傾向にあることを示します。

業種別の動向

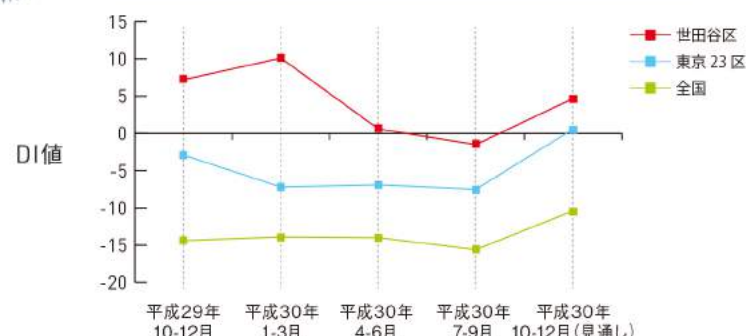
今期の業種別DIは「不動産業」10.3(前期比+7.1)、「製造業」▲10.9(同+2.1)と2業種で改善し、「建設業」17.7(同0.0)はほぼ横ばいで推移、「サービス業」▲6.2(同▲10.5)など3業種で悪化した。来期は「製造業」4.3(当期比+15.2)など4業種で改善し、「建設業」4.8(当期比▲12.9)、「不動産業」2.6(当期比▲7.7)の2業種は悪化する見通し。



業種	7.2	10.1	0.6	▲1.5	4.7
全体	7.2	10.1	0.6	▲1.5	4.7
製造業	5.4	15.8	▲13.0	▲10.9	4.3
建設業	7.2	14.9	17.7	17.7	4.8
不動産業	10.3	26.8	3.1	10.3	2.6
卸売業	15.8	4.9	▲7.1	▲11.1	2.2
小売業	▲4.4	▲3.6	▲5.0	▲7.8	▲1.6
サービス業	11.7	7.7	4.3	▲6.2	12.3

東京都・全国との比較

「世田谷区」(▲1.5ポイント、前期比▲2.0)、「東京23区」(▲7.5ポイント、同▲0.6)、「全国」(▲15.6ポイント、同▲1.6)と、ともに微減ながら悪化した。来期は「世田谷区」(4.7ポイント、当期比+6.2)、「東京23区」(0.6ポイント、当期比+8.1)、「全国」(▲10.4ポイント、当期比+5.2)ともに改善する見通し。



地域	7.2	10.1	0.6	▲1.5	4.7
世田谷区	7.2	10.1	0.6	▲1.5	4.7
東京23区	▲2.9	▲7.2	▲6.9	▲7.5	0.6
全国	▲14.4	▲13.9	▲14.0	▲15.6	▲10.4

※データ参照(データ:業況判断DI(前期比))
東京23区=[東京けいぎょう:業況判断DI](東京商工会議所)
全国=[中小企業景況調査 業況判断DI(前期比季節調整値)]
(独立行政法人中小企業基盤整備機構)

経営上の問題点

1位「従業員の確保難」32.3%(前期比▲4.9ポイント)とポイントが減少したものの、10期連続の1位となった。2位「仕入単価、下請単価の上昇」25.2%(同▲2.4ポイント)が前回順位3位より上昇。3位「人件費の増加」24.3%(同▲4.4ポイント)が前回順位2位より下降した。4位「購買ニーズの変化への対応」19.9%(同+1.4ポイント)は前回順位と同じ、5位「大企業(大型店)進出による競争激化」19.3%(同+3.8ポイント)が前回順位7位より上昇した。6位には「需要の停滞」17.5%(同+5.6ポイント)が前回順位8位より上昇し、ポイント差が今期一番大きくなった。その他、10位「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」8.3%(同+1.7ポイント)は前回順位11位より上昇し、3期連続で順位が上昇している。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	従業員の確保難	109	32.3%	1	11	生産設備の不足・老朽化	25	7.4%	10
2	仕入単価、下請単価の上昇	85	25.2%	3	12	事業資金の借入難	19	5.6%	15
3	人件費の増加	82	24.3%	2	13	その他	17	5.0%	13
4	購買ニーズの変化への対応	67	19.9%	4	14	購買力の他地域への流出	14	4.2%	14
5	大企業(大型店)進出による競争激化	65	19.3%	7	14	取引条件の悪化	14	4.2%	12
6	需要の停滞	59	17.5%	8	16	代金回収の悪化	13	3.9%	19
7	人件費以外の経費の増加	57	16.9%	5	17	在庫の不足	10	3.0%	16
8	新規参入者の進出や同業者の増加	51	15.1%	5	18	在庫の過剰	7	2.1%	16
9	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	37	11.0%	9	19	金利負担の増加	4	1.2%	18
10	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	28	8.3%	11	20	生産設備の過剰	1	0.3%	19

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。